



限りなき挑戦

NO.1

進路通信 4月8日

いよいよ中学校生活最後の年を迎えました。そして、受験生としての1年が始まります。君たちの進路のサポートを中心となって行っていく進路指導主事の松永真志です。1年生から君たちの成長をそばで見ることができ嬉しい気持ちでいっぱいです。

3年生になり「気持ちを新たに頑張るぞ」と感じている人だけではなく、「進路について考えると心配だな」と感じる人もいます。不安や心配を感じている人は、考え方を考えてみましょう。3年生とは、「自分の進む道を決める」ことができるのです。今年、最後の義務教育を修了すると君たちは、それぞれの道を歩むことができるのです。進学を選択することもでき、就職を希望することもできます。3年生とは、自分の可能性を生かすための進路選択ができる人生の節目であり、その節目を楽しむことができる1年なのです。

しかし、可能性とは磨かなくては輝きません。そのためには、困難なことに逃げずに立ち向かうことが大切です。一人では心が折れてしまう時があります。だからこそ、級友、保護者、先生たちとしっかり話し合い、協力して輝かしい1年間にしていきたいと思います。



希望する進路の実現に向けて

1. 今やるべきことをしっかり取り組めるようにしましょう。

学校生活や部活動など、3年生として、先輩として一生懸命取り組む姿を見せてほしいと思います。

2. 提出の期限を守りましょう。

あゆみなどを活用して提出物や提出期限をメモしましょう。

「知りませんでした」「忘れてました」は許されません。

3. 計画的に学習を進めましょう。

自分で進みたい進路が見つかったときに、「今の学力では・・・」というのはもったいないですね。まずは授業から、学ぶ姿勢を大切にしましょう。

4. 家庭での話し合いを大切にしましょう。

自分の考えだけで進路は決まりません。人生の先輩からアドバイスをもらいましょう。



保護者の皆様へ

進路を決定するまでには保護者の皆様の協力が不可欠です。そして、その人生を実際に進むのはお子様一人一人です。本人の意欲や適性に合う道を切り拓いていくためには、お子様自身の主体的な考えとともに、大人の広い視野からの助言や精神的な支えが必要です。大人と中学生の経験や価値観には差があって当然で、そこに意見の相違や摩擦が生まれることもあります。しかし、だからといって、「大人任せ」や「子ども任せ」にせず、話し合いを大切にしてください。話し合うことで、ともに納得のいく進路の実現につなげることができると思います。

保護者の皆様におかれましても、きっとお子様と同じように、不安な点が少なからずあると思います。ご意見やご質問がありましたら、気軽に学校へお問い合わせください。

お子様の思いを大切に、ご家庭と学校でともに支えていければと思います。

精一杯頑張りますので、1年間どうぞよろしくお願い致します。

